

第2回 長岡版広域道路ビジョン懇談会 議事録

■日 時：平成30年10月23日（火） 15:00～17:00

■場 所：長岡グランドホテル 2階【末広の間】

■議事次第

1. 開 会
2. 挨拶
3. 委員の紹介
5. 議 事
 - (1) 長岡版広域道路ビジョン 策定までの流れ
 - (2) 第1回懇談会の振り返り
 - (3) 新たな交通軸の夢、ロマン
 - ①新たな交通軸の夢、ロマン（広域）
 - ②新たな交通軸の夢、ロマン（狭域）
 - ③軸ごとの魅力
6. 閉 会

※懇談会資料は別紙のとおり

■懇談会の様子



■委員発言概要

①第1回懇談会の振り返り

【委員】

- ・人口減少の課題は全国共通。若者が進学、就職により、首都圏に流出している。
- ・我々地方都市は首都圏の利便性に勝るだけの魅力を地域に付加し、創出していかなければならない。
- ・会津若松も中心市街地の空洞化により空き店舗が増えつつあるが、首都圏の人には魅力的な歴史的な建物がたくさんある。維持管理が大変で解体も余儀なくされる状況にあるこれらの建物を、民間が経済産業省の補助金を利用しリノベーションし、歴史や文化、風土を活かしたサテライトオフィスや七日町通りという観光スポットを創出し、観光客の誘致に成功した。現在、訪れる観光客が年々右肩上がり増加しており、昨年30万人をカウントした。目標は100万人を呼び込む。

【委員】

- ・小千谷はものづくりのまち。鉄工や電子分野が基幹産業で、酒、米、煎餅なども含めてものづくりが盛ん。
- ・教育にも力をいれており、学生時代の教育に加え、生涯教育も大切にし、先を見据えた戦略が描ける教育を行っていききたい。
- ・今一番重要視しているのは情報連携、東京、新潟などの人脈と連携して、フレッシュな情報、自分に役立つピンポイントの情報を交換することが重要と考える。
- ・小千谷には上場企業になれるけどもならない企業が何社かある。それらは皆良い企業であるが、若者に魅力が伝わってなかったり、若者の希望する職業がわからなかったりする問題がある。企業の持つ本来の魅力や新しい取組みを情報として発信していく必要がある。
- ・会津と中越との連携は、観光、教育などの方面でメリットがあると思う。

②新たな交通軸の夢、ロマン（広域）

【委員】

- ・289号は日本海、太平洋を結ぶ大切な軸で、本当にロマンのあるルートだと感じる。
- ・只見町などは、高度医療の整備された中越と1時間圏内につながることによって救命率が非常に上がる。
- ・鉄道の只見線は秘境の素晴らしい景観の観光路線として効果があるが、交流人口の移動手段としては、道路の方が効果が大きい。
- ・289号、252号、352号は商工会議所として要望活動をしている。新潟側と共同で要望できるとよい。

【委員】

- ・軸の方向性（広域、狭域）はこれで良いと思う。
- ・南側に隠れている上越魚沼間の高規格道路をもう少し目立たせ、各軸を環状的に補完する軸として表すことで、中越地域全体に投資するということが強調できると思う。

【委員】

- ・第1回懇談会の委員の意見をうまくまとめてある。
- ・昨日商工会で花角知事との懇談会が行われた際、知事が新潟県の方向性を語っている中で交通網の話もあり、このビジョンの方向性と合致する部分がすごくあると感じる。県との情報交換も重要と考える。

③新たな交通軸の夢、ロマン（狭域）

【委員】

- ・軸の魅力では、会津も含み中越全体の豊かな自然環境（自然景観やトキ、イヌワシ、オオワシなどの絶滅危惧種、国定公園など）を前面に出してはどうか。
- ・寺泊のトキ分散飼育センターや、アメ横、その先の文化遺産やトキを含めた自然資源を持つ佐渡まで行くのに、長岡から116号方面へ抜けやすい道路が必要。
- ・自然資源や文化的遺産を観光面でうまく結びつけるネットワークが必要ではないかと考える。

【委員】

- ・4つの軸は非常に大事だと思う。軸別の魅力において、誰をターゲットに、どのように使うのかなどに着目して整理すると、将来に残せるようなビジョンになるのではないかと感じた。（若者、高齢者、災害時等）

③-1 会津地方へつながる連携軸

【委員】

- ・会津の人は歴史に敏感である。昨年4月に河井継之助記念館の稲川館長が会津で行った戊辰戦争の講演は大盛況であった。会津藩士の秋月悌次郎や長岡藩士の河合継之助などの映画が2020年に公開されるが、盛り上がりを見せるのではないかな。
- ・この軸は、現在会津で好評な五街道を含めて、観光街道として盛り上げたら良いのではないかな。

【委員】

- ・会津軸は、一番インパクトを感じる。前回も言ったが、この山の先に会津があり、日光があると思うと夢が広がる。観光面で欠かせない軸となるが、「きれいな道」というのが必要と感じる。
- ・今後、どのように道路を使うかが大事という意見があったが、長岡には大学が多く、米百俵の精神（未来への投資）もある、会津や小千谷も教育に熱心だという話があったので、教育をベースに子供が喜ぶ材料を意図的につなげるのは大事だと思った。

【委員】

- ・会津（八十里越え経由）に只見ダムを見に行ったが、行くまでの道中が大変だった。しかし途中の景色が非常に良く只見ダムもきれいであった。これらの良い景色を若者にSNSで拡散することで、訪れる若者が増えると思う。
- ・長岡には花火以外にも一年中魅力があるので、まず住んでいる若者にその魅力を教え、それを拡散することで交流人口が増えていくのではないかなと思う。

③-2 信濃川左岸の南北軸

【委員】

- ・小千谷の観光の目玉に片貝まつりがあるが、毎年交通渋滞を起こす問題をなんとかしたい。
- ・小千谷は東京方面に行くときの新幹線駅である長岡駅や浦佐駅へのアクセス性が問題。

【委員】

- ・4つの軸はうまくまとまっていると思う。
- ・新潟県は農業に非常に力を入れているが、美しい山里での林業や、この図で表している佐渡とのつながりなど、周辺とのつながりも忘れないことが大切に感じる。

【委員】

- ・事務局の提案は良くできていると思う。
- ・特にこの赤い軸は我々の農協管内に関係する。寺泊のアメ横には行きやすいが、夏戸のトキ飼育センターに行くにはもう少し分かりやすい道路案内が必要。
- ・地元としては観光客が増えると困るという意見も若干あるようだが、地域も利用しながら、観光資源を育てていければ良いと思う。

【委員】

- ・観光面で、新潟県の神社数は全国1位であるが、県の魅力度は31位である。比べて隣県は比較的上位（長野9位、石川10位、富山22位）に位置する。北陸新幹線の影響もあってか、活気づいている。新潟県も危機感を持って、もっと交通網を利用して発展していく気持ちが必要だと感じた。
- ・避難路について、認知症の方などが避難所に行きたくても行けない、行った先でも専門的な支援が受けられないといった場合があるため、長岡がその受け皿となるよう安心して避難できる道路があると良い。避難してきた人が、長岡の魅力を感じ、移住して来る人が出てくるかもしれない。
- ・参考資料5ページにあるMICE（国際的なシンポジウムや企業展などが一例）を、他の先進国より進んでいる日本の少子高齢化をテーマに、長岡で国際的な目線で開催するのも面白いと思う。

③-3 中越地域の一体性を強化する東西軸

【委員】

- ・広域の交通軸に関しては中越地域は県の中央に位置するため、放射状に道路が整備されることは地域間交流に関して意義があると思う。
- ・原発避難路の課題や、近年は積雪時の交通の確保が課題となっていたり、将来南海トラフ地震は30年以内7割～8割の発生率で20万人の死者、200兆円経済損失の予測を報道されている。それら有事の際に、日本海側の役割、中でも中越地域の役割を考えたときに、災害対応といった観点での道路整備は大事だと考える。

【委員】

- ・会津軸で表現しているのかもしれないが、魚沼から栃尾を抜け下田方面へ尾根を越えて抜ける290号も、この軸と関連して協調されても良いのではないかと思います。

③-4 東西市街地の一体化

【委員】

- ・橋はずいぶん整備されてきて、長生橋もいずれは架け替えも検討される中で、橋を観光資源として活用していければ良いと考える。
- ・フェニックス大橋が完成して東西の交通の流れが大きく変わったため、その流れを分析して、今後の市の有り方を検討する必要があるのではないかと。

【委員】

- ・フェニックス大橋、蔵王橋の4車線化は早急に考えていく必要があると感じる。
- ・東西の人の往来が活発になったように感じる。
- ・信濃川の左岸軸と長岡東バイパスが東西の基幹道路となり、それらが橋で結ばれ環状的になることで、近隣市町村との連携は非常に良くなる。

【委員】

- ・雪が降るとフェニックス大橋の左岸側、新産のあたりは通り辛くなる。除雪を強化するなり消雪パイクを入れるなり、市外から来た人も含めて冬でも運転しやすい道づくりが必要と考える。

【委員】

- ・長岡花火の帰り、比較的スムーズに通れる蔵王橋が左岸バイパスとつながることは魅力的。
- ・与板の町中は、まだまだ走りづらいと感じているので、早く整備してほしい。

【委員】

- ・やはり冬でも安心して走れる道が重要だと考える。

【委員】

- ・橋は景観上非常に重要な要素。インスタ映えするようなSNSで拡散することで、地域の魅力アップに繋がる。お金をかけるのであれば、景観的な配慮をお願いしたい。

④まとめ

【委員】

- ・フェニックス大橋を早急に4車線化し、川西側はその先に予定している大積スマートICのあたりまで用地的に4車化は可能だと考える。
- ・左岸バイパスについて、南側は長岡南越路スマートインター、その先も見据えて小千谷方向、北は、長岡北スマートインター、さらにその先与板、寺泊まで見据えて強化することで、117号と左岸バイパスが一体となりラダーの左岸側がかなり強化される。
- ・蔵王橋も4車線にしたいし、遠い未来を考えるビジョンということであれば、与板橋との間に距離があるからもう一本橋があっても良いのではないかと思う。
- ・長生橋はゲルバートラスが景観的に優れているので、長寿命化を保つにするために、歴史的なものも考えつつ、役割を大手大橋やフェニックス大橋に割り振る必要があると思う。補助的な橋として、タクシーと公共交通専用にする案もある。

◎今後の予定

【事務局】

たくさんの貴重なご意見を頂いたので、事務局で意見を参考にしながら、次回の「段階的な道路整備」を整理していきたい。第3回委員会は、12月の中旬に開催予定である。具体的な開催日時は、改めて連絡させていただく。

以 上